

# SUPERBIKE EXPRESS--

Extra, Expert and Extreme

2019 MFJ  
ALL JAPAN  
CHAMPIONSHIP  
ROAD RACE

SUPERBIKE 7  
EXPRESS 7

2019 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Rd.7  
SUPERBIKE RACE in KYUSHU

SUPERBIKE  
RACE  
in KYUSHU

JSB 1000  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

RACE & QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 中須賀が強さを見せつけ今季4勝目! 野左根が2位に入りヤマハファクトリーが1-2 レース2ではHonda、Kawasakiの巻き返しなるか!?

全日本ロードレース選手権も、シリーズ7戦目を大分県・オートポリスで迎えた。今回を含め残り2戦となり、いよいよ2019年シーズンも大詰め。JSB1000クラスは、5月の第3戦SUGO以来の2レース制となっており、土曜日に予選・レース1が行われた。

前週に行われた公式テストから好タイムを刻んでいた中須賀克行を中心にレースウィークは、進んで行くかと思われたが、初日となった金曜日は、雨上がりですべりやすくなっていた路面の影響もあり、中須賀は4番手に沈んでいた。かわってトップタイムをマークしたのは、後半戦に入って調子を上げている水野涼だった。高橋巧もタイムを縮め2番手とHonda勢が1-2を占めていた。この時点で中須賀は、路面コンディションが回復しなければ厳しくなる、と語っていたが、土曜日は、コンディションがよくなってきていた。公式予選で中須賀は、自身の持つコースレコードを更新する速さを見せる。これは、2番手の高橋を約1秒も引き離す驚異的なものだった。セカンドタイムもトップとなり、両レースでポールポジションを獲得する。チームメイトであり、前戦岡山ラウンドで優勝した野左根も3番手につけヤマハ勢が巻き返して来る。

決勝が始まるとフロントロウの3台は好スタートを切り中須賀がホールショットを奪うが、1つギアを落とし損ねてしまったため加速が鈍り、野左根が前に出て行く。後方では水野が3番手で1コーナーに入るが、立ち上がりで高橋が前に出て行くが、2コーナーへのブレーキングで水野が抜き返す。オープニングラップは、野左根が制し、中須賀、水野、高橋、岩戸亮介、渡辺一馬、加賀山就臣、渡辺一樹、秋吉耕佑、前田恵助と続いていた。トップを走る野左根は、1分48秒台中盤でラップを重ねレースをリード。このペースを見た中須賀は、予想以上の好ペースのため2番手をキープし、勝負するチャンスを待つ。その後方につける水野は、中須賀のすきを伺うが、前に出ることができていない。レース序盤、トップグループは、野左根を先頭に中須賀、水野、高橋、渡辺一馬、岩戸が形成。徐々に渡辺一馬が遅れ、トップグループは4台に絞られてくる。

レースも折り返しを過ぎると、水野のペースが上がらなくなってくる。これを見た高橋は、13周目の第2ヘアピンで水野をかわして3番手にポジションを上げ、ヤマハの2台を追う。トップ争いが動いたのは17周目だった。野左根をビタリとマークしてきた中

須賀は、1コーナーで前に出るとラストスパートに入る。このペースに野左根も対応し、中須賀について行くが、高橋は、ここで遅れ始め、トップ争いはヤマハ同士の一騎打ちとなる。何とか仕掛けたい野左根だったが、中須賀はすきを与えず、そのままチェッカー。今シーズン4勝目を地元・九州でマークした。野左根は、最終ラップにファステストラップを出す意地を見せたが惜しくも2位。3位に高橋が入ったことで、高橋が202ポイント、中須賀が186ポイントとなり、両者の差は、16ポイント。残り3レースで、タイトル争いも、どう展開されるか注目したいところだ。

水野は4位、渡辺一馬が5位、6位に渡辺一樹、7位に岩戸、8位に秋吉、9位に加賀山、10位に濱原颯道と続くトップ10となった。

レース2も、中須賀を中心に野左根、高橋、水野の4台がトップ争いを繰り広げそうだ。カワサキのホームコースで巻き返したい渡辺一馬も、トップ争いに加わりたいところ。

日曜日、いい天気にも恵まれそうなオートポリス。さわやかな秋晴れの下で繰り広げられる激戦を楽しんで欲しい。20周で争われるJSB1000クラスのレース2は、14時25分にスタート予定!

**JSB 1000**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



レース1ポールポジション: 1'46.306 R  
レース2ポールポジション: 1'47.139  
#1 中須賀 克行  
YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『スタートは、うまく決まったのですが1コーナーでギアを一つ落とせず、加速が鈍ったところで野左根選手に前に行かれてしまいました。野左根選手が思った以上に、いいアベレージで走っていたので、後ろでリズムを作るのに、ついたり離れたりしながら、水野選手も後ろから仕掛けて来ていましたし、10周目辺りから、落ち着いて来ました。自分の速いところと遅いところを見定めながら、2番手をキープしながら、いつ勝負を仕掛けるかを考えていました。本当はラスト1周で前に出ようかと思っていたのですが、それもリスクがあったので少し早めに前に出ました。そこからプッシュしましたが、しっかり野左根選手もついて来ていたので何とか抑え切れてよかったです。地元でパワーをもらって勝つことができてよかったです。レース2も、この勢いで行きたいですね』

JSB1000 決勝 [Race1] 正式結果表

●予選・決勝[Race1](20周) / 10月5日(土) : 天候・路面 / 晴・ドライ

Pos No	Rider	Team
1	1 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
2	4 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM 2
3	13 高橋 巧	Team HRC
4	634 水野 涼	MuSASHI RT HARC-PRO.Honda
5	23 渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN
6	26 渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL
7	64 岩戸 亮介	Kawasaki Team GREEN
8	090 秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT
9	12 加賀山 就臣	ヨシムラスズキMOTUL
10	19 濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ
11	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM
12	87 柳川 明	will-raise racingRS-ITOH
13	44 関口 太郎	Team ATJ
14	080 羽田 太河	au・テルルMotoUP RT
15	35 亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team
16	95 生野 秀之	エスバルスドリームレーシング・IAI
17	46 星野 知也	STONE RT SYNCEDGE4413 BMW
18	70 清末 尚樹	TEAM WITH 87 KYUSHU
19	71 津田 拓也	TK SUZUKI BLUE MAX
20	77 伊藤 和輝	will-raiseracingRS-ITOH
21	18 津田 一磨	Team Baby Face
22	31 小島 一浩	Honda緑陽会熊本レーシング
23	91 吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング
24	37 黒木 玲徳	GOSHI Racing
25	56 田尻 悠人	GOSHI Racing
26	78 岡田 寛正	HondaブルーヘルメットMSC熊本
****	以上チェッカー****	
27	85 中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ
****	以上完走(15Laps)****	
30	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン
22	児玉 勇太	Team Kodama
84	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング
Fastest Lap / 1'48.092	(20 / 20)	155.667 km/h
#4	野左根 航汰 / YAMAHA FACTORY RACING TEAM 2	



**JP 250** Presented by DUNLOP

谷本音虹郎(INT)が初優勝、松岡玲(NAT)は3連勝達成!

2019 MFJカップJP250選手権 第5戦の決勝レースは、ホールショットを奪った谷本音虹郎、ポールポジションの永島潤太郎、笠井悠太、片山千彩都、松岡玲、中村龍之介の6台がチェッカーまで激しくバトルを展開。終盤に片山が遅れるが、残る5台は最終ラップまでバトルを繰り広げ、松岡が真っ先にチェッカーを受けて総合優勝(ナショナル優勝)。谷本(インター優勝)、笠井とチェッカーを受けた。



決勝正式結果(12周 / 上位10位)

●10月5日(土) 予選・決勝 天候 / 晴 路面 / ドライ 出走17台

Pos No	Cls.	Rider	Team
1	49 N 1	松岡 玲	キジマKISSレーシングチーム
2	3 I 1	谷本 音虹郎	speedheart DOGFIGHTER YAMAHA
3	20 I 2	笠井 悠太	TEAM TEC-2
4	37 I 3	中村 龍之介	ENDLESS TEAM SHANTI
5	33 I 4	永島 潤太郎	チームライフ・ドリーム北九州
6	54 N 2	片山 千彩都	GOSHI Racing
7	27 I 5	石井 千優	TONERT千葉北ボケバイコース+N-PLAN
8	38 N 3	本郷 雅也	GO&FUNRacing Team KYOEI
9	35 N 4	佐々木 将旭	Team KYOEI GO&FUN
10	44 N 5	古賀 大造	TEC-2 & Burning DA

**J-GP2**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

名越哲平が今季4度目のポールポジション!!  
「タイトルよりもまずはここでしっかり勝って最終戦に臨みたい!」



名越哲平



ポールポジション: 1'51.708  
#634 名越 哲平  
MuSASHi RT HARC-PRO.

『岡山国際は天気に翻弄されて悔しい結果になってしまったので、今回は絶対にポールポジションを取るつもりで、テストからそれを見据えて進めてきました。目標は高橋裕紀さんの持つ記録を超えたいんですけど、やっぱりまだ足りない部分がありました。それでもポールポジションを取れてうれしく思います。もちろん、チャンピオン獲得を意識していないと言えば嘘になりますが、しばらく優勝がないので、勝ちに飢えているというか、チャンピオンよりもまずはここでしっかり勝って、最終戦鈴鹿に良い流れを作って臨めるようにしたいです。決勝レースでは作本選手も必ず来ると思うので、タイトルを争う者同士、レースを楽しみながら最後には自分が勝てるようにしたいですね』

J-GP2クラスの公式予選。セッション前半は尾野弘樹が1分52秒020でトップをキープ。52秒410で小谷咲斗、52秒422で作本輝介、52秒504で榎戸育寛と続く。この時点ではポイントリーダーの名越哲平は52秒505で5番手にいた。

しかし、名越はピットインを挟んでセッション後半に入ると51秒台に入れてトップに浮上、さらに51秒台を連発すると、続く周に51秒708のベストタイムをマークし

て、結果的にはこのタイムでポールポジションを獲得することになった。

セッションの後半には作本も52秒218まで上げてきたが、その後、52秒100までタイムアップした榎戸に逆転され4番手。尾野が序盤のタイムで2番手、小谷も序盤のタイムで5番手とここまで4台が52秒台で続く。6番手にはセッション中盤にマークした53秒432で岩崎哲朗が入った。

**ST 600**  
 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
**QUALIFYING PRACTICE**  
 REPORT & INTERVIEW



## 小山知良が今季初ポールポジション! 「タイトルのことは考えずレースの勝利だけを狙う!」



小山知良

A、Bグループ分けの公式予選となったST600クラス。Aグループ・セッションの序盤から積極的にタイムを出してきたのが奥田教介。2周目に早くも1分53秒675をマークしてグループのトップに。しかし、直後に小山知良が1分53秒403をマークして逆転トップを奪う。以下、佐野優人、スポット参戦の大崎誠之。南本宗一郎、荒川晃大の4人が54秒台で続く展開。終盤に大崎がタイムアップ、一つ順位を上げてセッションは終了した。

続くBグループでも小山とチャンピオンを争う岡本裕生がセッション開始早々の3周目に53秒578をマークしてトップに立った。國峰琢磨、長尾健吾、岩田悟らが54秒台で続いた。その後は上位のタイムに大きな変動はなく、結局、Aグループの小山が昨年の最終戦鈴鹿以来、今季は初となるポールポジションを獲得した。

2番手は岡本、奥田の3人がフロントロウ、4番手に54秒053の國峰、長尾、大崎が2列目に並ぶ。



**ポールポジション : 1'53.403**  
**#230 小山知良**  
**日本郵便HondaDream TP**

『ボクは一発タイムを出すタイプではないので、これまでポールポジションというのはほとんど無いんです。金曜日も色々試したのですが、なかなか一発のタイムがでなくて、最悪は2列目までに並べば良いかなと思ってました。ただ、走る度にコンディションも良くなっていて、(ST600の前にあった)JSBの予選を見ていて、中須賀選手がレコードタイムを出したので、これは相当コンディションも良くなって来ているな、と思って、直前にセッティングを変えたら、それがズバリと当たったということです。しかし、重要なのは決勝ですから、チャンピオンシップのことは考えずに、勝ちだけを目指して全力で走ります!』

**J-GP3**  
 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
**QUALIFYING PRACTICE**  
 REPORT & INTERVIEW

## 栗原佳祐、2年振りのポールポジション! 「予選・決勝、結果でチームに貢献すること。それがボクの仕事」



栗原佳祐

快晴のレース日和となったオートポリス。全日本選手権最初の予選、J-GP3クラスは、序盤から上位陣がタイムを塗り替える展開となった。村瀬健琉、中山愛理、高杉奈緒子、福嶋佑斗らに割って入ったのが代役スポット参戦の栗原佳祐。細谷翼、鈴木大空翔らのティーンエイジャーもタイムを上げて来る。この時点で福嶋が1分58秒810でトップ。2番手には中山の58秒833。58秒台はこの2人だけだった。

35分間のセッションも後半に入ると、さらにアタックが激しくなり、各ライダーともタイムを上げてきた。そして、残り時間も5分程の時点で6番手だった栗原が58秒310をマークしてトップに浮上。村瀬も58秒988に上げ、チェッカー一周には高杉も58秒713を出して順位を2番手へと大きく上げるが、結局栗原がそのままポールポジションを獲得した。高杉が2番手、3番手が福嶋、以下中山、鈴木、村瀬の順となった。



**ポールポジション : 1'58.310**  
**#17 栗原佳祐**  
**WJ-FACTORY**

『これまでバイクのことが考えて来なかったもので、一度違った世界も知る必要があると思い、一旦バイクからは離れ、レースは参戦しないつもりだったんです。でもやはりバイクが好きで、そんな時にWJのチームオーナーからオファーがありました。2週間前に! 1年振りにバイクに乗りましたが、それなりに色々な引き出しを組み合わせ合わせて挑みました。自分はチャンピオンシップにも関係ないし、地味にタイムを上げて、メカニックともじっくり話し合っ、セットを進めて、普通に走ったらこのタイムが出たって感じます。正直、こんなのでポールポジションで良いの? ですね。あと1秒以上速くないとだめだと思うので、明日のフリーでまだ足りない所を無くしてレースに臨みたいですね!』

# MFJ Superbike Round 7 SUPERBIKE RACE in KYUSHU 5 - 6 October 2019 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走30台  
●決勝[Race2]スタート/14:25(20周)

## JSB1000[Race2] 公式予選 セカンドラップタイム 正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'47.139
2	13	高橋 巧	Team HRC	CBR1000RR SP2	1'47.390
3	634	水野 涼	MuSASHI RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2	1'47.643
4	23	渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	Ninja ZX-10RR	1'47.692
5	4	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM 2	YZF-R1	1'47.695
6	64	岩戸 亮介	Kawasaki Team GREEN	Ninja ZX-10RR	1'48.009
7	26	渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L9	1'48.063
8	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'48.576
9	090	秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	1'48.650
10	12	加賀山 就臣	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L9	1'48.908
11	19	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RRSP2	1'49.556
12	35	亀井 雄大	Honda Suzuki Racing Team	CBR1000RRSP2	1'49.749
13	95	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000	1'49.838
14	44	関口 太郎	Team ATJ	CBR1000RR SP2	1'50.053
15	87	柳川 明	will-raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	1'50.622
16	71	津田 拓也	TK SUZUKI BLUE MAX	GSX-R1000	1'50.777
17	46	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413 BMW	S1000RR	1'50.998
18	18	津田 一磨	Team Baby Face	YZF-R1	1'51.004
19	080	羽田 太河	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	1'51.617
20	70	清未 尚樹	TEAM WITH 87 KYUSHU	ZX-10RR	1'51.638
21	77	伊藤 和輝	will-raiseracingRS-ITOH	ZX-10RR	1'52.164
22	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'52.262
23	56	田尻 悠人	GOSHI Racing	CBR1000RR	1'53.250
24	31	小島 一浩	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'53.584
25	37	黒木 玲徳	GOSHI Racing	CBR1000RR	1'54.309
26	91	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'54.382
27	78	岡田 寛正	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'55.078
28	30	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	RSV4RF	1'55.332
29	22	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	1'55.355
30	84	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'55.469

\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム(1'55.981 - 108%) \*\*\*\*



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走20台  
●決勝スタート/10:40(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	17	栗原 佳祐	WJ-FACTORY	NSF250R	1'58.310
2	20	高杉 奈緒子	41Planning	RC250R	1'58.713
3	88	福嶋 佑斗	Team Plusone+f	NSF250R	1'58.810
4	14	中山 愛理	TEAM SHOTA	NSF250R	1'58.833
5	11	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'58.949
6	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリ	NSF250R	1'58.988
7	34	細谷 翼	Team SRS-Moto	NSF250R	1'59.343
8	71	成田 彬人	Team P.MU 7C MIKUNI	NSF250R	1'59.366
9	36	長谷川 聖	CLUB Y's	NSF250R	1'59.559
10	9	山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'59.569
11	18	安村 武志	犬の乳酸菌/ブリミティブR.T	PRCS3d	1'59.638
12	13	岡崎 静夏	Kohara Racing Team	NSF250R	1'59.812
13	5	藤井 謙汰	Kohara Racing Team	NSF250R	2'00.277
14	41	宇井 陽一	41Planning	RC250R	2'00.958
15	46	岡田 義治	TeamPLUSONE&H.S.C	NSF250R	2'01.312
16	51 E	渡邊 虎太郎	Team HIRO	NSF250R	2'01.796
17	57 E	大田 隼人	RSGLレーシング&ドリーム北九州	NSF250R	2'02.170
18	16	白石 玲菜	Dreamline Plusone	NSF250R	2'02.426
19	21	村田 憲彦	CLUB Y's	NSF250R	2'02.432
20	32	三好 菜摘	RG NIWA with オーツテック・スズカ	NSF250R	2'04.137

\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム(2'08.099 - 108%) \*\*\*\*

E: 特別参加枠



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走12台  
●決勝スタート/12:55(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	名越 哲平	MuSASHI RT HARC-PRO.	HP6-q	1'51.708
2	392	尾野 弘樹	ミクニ テリー&カリ	GSX-R	1'52.020
3	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	HP6q	1'52.100
4	4	作本 輝介	Team 高武 RSC	MD600	1'52.218
5	22	小谷 咲斗	Team TARO PLUSONE	HP6q	1'52.410
6	70	岩崎哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	1'53.432
7	36	徳留 真紀	マルマエMTR	HP6	1'53.691
8	18	豊島 怜	Speed heart DOG FIGHTR YAMAHA	YZF-R6	1'53.876
9	14	阿部 恵斗	Webikeチームノリックヤマハ	YN6	1'54.425
10	19	井手 翔太	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'56.522
11	21	中尾 健治	R&Tサークル・YSP宇部	YZF-R6	2'00.218

\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム(2'00.898 - 108%) \*\*\*\*

79 朝比奈 正 アサヒナレーシング Z600 2'04.131

## Supported by BRIDGESTONE



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走47台  
●決勝スタート/15:55(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	230	小山 知良	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	1'53.403
2	1	岡本 裕生	Baby Face 51ニトロレーシング	YZF-R6	1'53.578
3	57	奥田 教介	ARMY GIRL team MF&Kawasaki	ZX-6R	1'53.675
4	55	國峰 琢磨	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	1'54.053
5	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	1'54.127
6	75	大崎 誠之	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'54.277
7	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	1'54.373
8	6	南本 宗一郎	AKENO SPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'54.432
9	54	荒川 晃大	MOTO B UM HONDA	CBR600RR	1'54.639
10	420	岩田 悟	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	1'54.786
11	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	1'55.058
12	12	古山 颯太	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'55.100
13	39	和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	1'55.273
14	71	上原 大輝	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	1'55.367
15	64	伊達 悠太	BATTLE FACTORY & KIMA Racing	CBR600RR	1'55.384
16	13	杉山 優輝	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'55.450
17	090	中村 修一郎	au・テルル MotoUP RT	CBR600RR	1'55.535
18	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki +eS_style	ZX-6R	1'55.646
19	45	長尾 健史	TEAMけんけん with BEE	YZF R6	1'55.698
20	69	中村 竜也	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	1'55.817
21	17	仲村 優佑	AKENO SPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'55.999
22	98	佐野 勝人	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	1'56.032
23	48	横山 尚太	ガレージL8.RT	YZF-R6	1'56.111
24	85	岡本 雄一郎	RSG レーシング	CBR600RR	1'56.157
25	51	関野 海斗	Baby Face 51ニトロレーシング	YZF-R6	1'56.231
26	40	菅原 陸	保険職人GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'56.249
27	88	名越 公助	Team PLUSONE With TARO	YZFR6	1'56.314
28	22	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	1'56.398
29	23	西嶋 修	TeamWith87KYUSUYU	ZX-6R	1'56.460
30	28	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	1'56.570
31	43	砂泊 孝太	TEAM PLUSONE	YZFR6	1'56.651
32	41	田所 隼	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	1'56.787
33	96	STEFAN HILL	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	1'56.959
34	14	行村 和樹	Kohara Racing Team	CBR600RR	1'57.229
35	46	中島 元気	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	1'57.423
36	26	小山 葵	AKENO SPEED	YZF-R6	1'57.500
37	36	丹羽 貴大	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'57.557
38	20	中村 豊	CLUBNEXTMOTOBUM	CBR600RR	1'57.876
39	44	平野 ルナ	TransMapRacing with ACE CAFE	YZF-R6	1'58.067
40	62	松本 吉生	豊後なしかレーシング倶楽部	CBR600RR	1'58.884
41	33	櫻井 賢一	MOTO BUM	CBR600RR	1'59.026
42	65	本川 楓	RSG レーシング	CBR600RR	1'59.094

\*\*\*\* 以上 予選通過 Aグループ(2'02.887 - 108%) / Bグループ(2'03.032 - 108%) \*\*\*\*

43	76	岩波 史人	豊後なしかレーシング+Rider's	ZX-6R	2'00.321
44	99	辻本 範行	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	2'00.446
45	63	藤田 茂樹	レーシングクラブ びるしゃな	ZX-6R	2'00.518
46	37	長谷川 修大	Honda Suzuki Racing Team	CBR600RR	2'02.555
84	繁永 虎之介	WORK ASSIST 無法松+DS.Company	YZF-R6	計測出来ず	
61	船津 重人	ZOOM R.T.	YZF-R6	出走せず	
77	中谷 真季	Team moto-girls	CBR600RR	出走せず	

## INFORMATION



パワーアップして全国無料放送!!

全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権をダイジェスト編集。モーターサイクルスポーツバラエティ「tv.motoちゃんねる」として全国無料放送のBS12で放映!!

●放映予定  
■放送:毎月最終土曜日21:30~22:00 (月1回、3月~12月予定)  
☆詳しくはBS12(トゥエルビ) <http://www.twellv.co.jp/>



全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/J-GP2/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。  
※通信環境により遅延配信となる場合もあります

## インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!